

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) コマザワダイガク	フリガナ) グローバル・メディア・スタディーズガクブ	フリガナ) カガミヨウコゼミナール
駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	各務洋子ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) カガミヨウコゼミ	フリガナ) サイトウコウヘイ	10	無
各務ゼミ	齊藤晃平		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

学生地域補助輪プロジェクト ～地域の問題を共に考える～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちのゼミナールは経営戦略論を専門としており、この学問は組織の抱える様々な問題の解決に応用することができる。いわば、最も「我々の日常生活に落とし込める学問」の1つである。私たちは最新の経営戦略論のテキスト『なぜ良い戦略が利益に結びつかないのか』(著者: Paul Leinwand、Cesare Mainardi 出版社: ダイヤモンド社 出版年: 2016/12/8)を学び、そこで提唱されている理論を、目の前の地域に活用しようと考えた。戦略と実行のギャップを埋めるための5つの行動様式(①自社の独自性を貫く、②戦略を日常業務に落とし込む、③自社の組織文化を活用する、④成長を捻出するためのコスト削減、⑤将来像を自ら作り出す)を大学近辺の東深沢商店街振興組合の問題へと落とし込み、学生でもソリューションに辿りつけることを実感し、その方法論を全国の大学生に提案することにした。

この理論を各大学の学生が身近なコミュニティーへ応用していけば、たとえ学生の立場であっても、地域の抱える問題を共に解決する糸口が見つかる。私たちは、地域固有の課題を地元の方と共に考える戦略的な学生集団を各大学に設置し、それぞれの地域の抱える固有の課題解決を共に考えることを目標として「学生補助輪プロジェクト ～地域の問題を共に考える～」を提案する。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

- 全国の商店街の実態は「中小企業庁 平成 27 年度商店街実態調査報告書」によると、「商店街の景況」という問いの回答では「衰退の恐れがある」31.6%、「衰退している」35.3%と衰退関連の回答が 66.9%と過半数を超えていた。
- 世田谷区の商店街の実態は「世田谷区産業政策部 平成 26 年度世田谷区商店街空き店舗状況アンケート」によると「現在、空き店舗がありますか」という問いに対して「ある」74%、「ない」26%であった。「空き店舗の活用を行っていますか」という問いに対しては「行っている」7.6%、「現在は行っていないが、今後は行なっていきたい」25.3%、「行っていない（今後行う予定はない）」67.1%という結果だった。
- 世田谷区には 133 箇所の商店街が存在しており、うちネット上で電話番号が見つかった商店街が 20 箇所、実際に電話でお話を伺えたのは 12 箇所であった。しかし、お話を伺えた 12 箇所の商店街では空き店舗が少なく、私たちが提起している問題の抽出はできなかった。そのため、私たちは電話番号がネット上になかった 113 の商店街に問題が存在すると仮説を立てた。
- 世田谷区産業政策部商業課の商業係長へお話を伺った。対象とする商店街は 113 箇所の中から「駅から離れている」、「大学の近く」の 2 つの条件を満たしている商店街が適していると言ってくれた。実際に条件を満たしている商店街 10 箇所の現場へ行き、そのうち東深沢商店街振興組合理事長、新町新和会会長にお話を伺った。その結果、「街全体の平均年齢が上がっているため、学生のような若い力は非常に助かります」と言ってくれ、東深沢商店街振興組小林理事からは賛同の声をいただき、共同で今回の活動を行うこととなった。

3. 研究テーマの課題

東深沢商店街振興組合「お休み処」の活用

東深沢商店街振興組合理事長の小林氏によると、現在東深沢商店街振興組合では近辺に小学校があり、通学路にもなっているため登下校の時間になると子供たちが商店街を通る。そのため東深沢商店街振興組合は「お休み処」というスペースを子供達やお年寄りの交流の場として提供している、と述べていた。

しかし、実際我々が商店街を訪れ 4 日間定点観測をしたところ、そのスペースは交流の場というよりは子供達がそれぞれゲームをするという互いにコミュニケーションのない場になっており、商店街の望んでいる子供達が交流するような活用の仕方はされていなかった。

そこで私たちは、この問題の解決の為に 5 つの行動様式を利用した。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちが東深沢商店街振興組合の課題を解決するために提案するのは、商店街の現状を 5 つの行動様式に当てはめて、そこから解決策を見出すことである。以下より、5 つの行動様式に当てはめて東深沢商店街振興組合を分析した結果を提示する。

- ①東深沢商店街振興組合の人口構造の変化及び、お休み処の提供から見て、独自性がある。
- ②東深沢商店街振興組合は高齢者、子供が多く、お休み処はその 4~5 年前から子供たちの交流の場として提供されたが、うまく活用されていない。よって戦略を日常業務に落とし込めていないといえる。
- ③生活支援拠点型商店街として、様々な世代の人が安心安全な生活ができるようあらゆるサービスを提供しようと努力しているが、実現はされていないので組織文化を活用できていない。
- ④コストは、スタンプ事業費・会館管理費・福祉厚生事業費・環境整備事業費・桜祭り事業費・女性部事業費などにかかれており、分散している。集中化によるコスト削減に繋げることができていない。
- ⑤商店街のビジョンとして、

「活気のあった昭和 50 年代の頃のような、地域の包括拠点になりうる商店街になること」を掲げており、自ら将来像を作り出すことに成功している。

これらの分析を通して、新たな成長戦略を打ち出すことができる。

私たちの三つの提案の根底として、学生ならではのものであることと、環境に寄り添ったものであることを重視した。

一つ目の提案は、「学コミュ」である。

東深沢商店街振興組合の近辺には小学校があり、毎日子供たちが通学路として通行する。そのため、私たち大学生と小学生の交流会を設置したいと考えている。3で述べたように、お休み処にはお互いに交流はなく個人的にお休み処でなくてもできることをしていた。私たちはその原因を、子供たちへのインタビューから遊ぶ道具がないというところにあると考えた。そこで、私たちは男の子にはレゴやカードゲーム、女の子にはヘアアレンジやお絵かき道具の提供など、大学生が小学生と共にできる学びある遊びの提供をすることを提案する。

二つ目の提案は、「補助輪スタディー」である。

一つ目の提案である学コミュに付随して、お休み処に訪れた小学生が「宿題があるから家に帰らなければ」と言っていたことから、新たなお休み処の活用として私たち大学生がボランティアとして小学生に宿題を教える機会の提案をしたい。

最後に、「エブリデイ健康促進」を提案する。

これは、高齢者の方々と交流しながらラジオ体操など簡単な運動を行う健康習慣を提案するものである。現在、東深沢は70代以上の高齢者が増えており、小林さんによると午前中に高齢者の方々がよくお休み処を訪れているようだ。実際に我々が視察に赴いた際も、会議室などとして貸出可能な2階のスペースを4人で確認しに来たにも関わらず、足が悪いという理由で3人が下で待機していた。このことから、高齢者に向けての健康習慣の提案は有効なものであると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- 商店街の現状、商店街の利用客のニーズを知るために、世田谷区の駒澤大学近辺の10の商店街（(1)粕谷商誠会、(2)成城親和会、(3)上祖師谷商和会、(4)TMC 通り商店街、(5)用賀商店街振興組合、(6)中里通り商店街振興組合、(7)親和橋商店会、(8)深沢中央商店街振興組合、(9)東深沢商店街振興組合、(10)新町親和会）に足を運んだ。
- 2017年8月24日に世田谷区役所商業課係長の荒井隆様に2時間程度インタビューを行い世田谷区の商店街の現状をお話伺った。
- 世田谷区のホームページにて133の商店街に電話し電話番号があるかどうかの検証と、電話番号のあった13商店街に空き店舗の有無と全商店街の店舗の数をインタビューした。
- 東深沢商店街振興組合の理事長の小林光様に2017年9月4日に1時間程度インタビューを行った。
- 新町親和会の佐藤正博様に2017年9月14日2時間程度インタビューを行った。
- 世田谷区役所の前田様に2017年9月19日電話にてデータの確認と訂正。
- 東深沢商店街振興組合のお休み処で2017年9月19日～9月22日の10時～18時の間、訪問者のインタビューや施設の調査を行った。

6. 結果や今後の取り組み

私たちが提案したスペースの活用方法を10月3日-10月5日に行われる東深沢商店街振興組合の理事会に出していただけることになった。

このように『なぜ良い戦略が利益に結びつかないのか』（著者：Paul Leinwand、Cesare Mainardi 出版社：ダイヤモンド社 出版年：2016/12/9）の中で提唱されている5つの行動様式を活用できれば、学生であっても問題を把握しソリューションを提案することができる。この学生補助輪プロジェクトを全国の大学へ普及、浸透させていけば各大学の周辺地域の課題解決を見込むことができる。

7. 参考文献

Paul Leinwand（著）、Cesare Mainardi（著）PwC Strategy&（訳）（2016/12/8）『なぜ良い戦略が利益に結び

つかないのか』ダイヤモンド社

『平成 27 年度中小企業庁委託調査事業 商店街実態調査報告書』(2017/7/13 アクセス)

<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/shogyo/2016/160322shoutengaiB.pdf>

『世田谷区役所ホームページ』(2017/7/28 アクセス)

<http://www.city.setagaya.lg.jp/>

『世田谷区商店街空き店舗アンケート結果報告書』(2017/8/1 アクセス)

http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/802/d00136423_d/fil/7-2.pdf

『世田谷区の統計所 1961 年～2016 年』(2017/9/15 アクセス)

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/692/694/1887/d00050936.html>

『区内商店街マップ・商店街一覧 | 世田谷区』(2017/8/8 アクセス)

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/101/116/300/d00007656.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください